

愛猫シズクのいつてらつしゃいのキスが
長くてあつたかくて幸せな朝

早朝。主人公のアパートの一室。
外からは小鳥のさえずり。

田 覚める主人公。

シズク、布団の中で主人公の胸元に抱きついたまま
眠っている。

◆正面下/10cm 胸元》 <寝ぼけ声>

「すー……すー……すー……ん、すー……」

主人公、シズクをそっと撫でる。

シズク 1
（胸元に顔すりすり。気持ちよさそう）

シズク 2
「んあ～……あは～……ああ～……♪」

シズク 3
シズク、寝ぼけている。

シズク 4
「もうハンバーグ、食べれない……♪」

シズク 5
「うええ？ イチゴパフェもお？」

シズク 6
「しょ～がないなあ～～♪」

シズク、主人公の指を咥えてモグモグ。

シズク 7
「食べうう～……はあ～む♪」

【二】から指を咥えながら】

シズク 8
「あむあむ……あむあむあむ……♪」

「んふふ～♪ おいひい♪ あむ♪ ちゅふ、れる、
ちゅう、はむ、ちゅぱ……♪」

ハズク、半分田が覚える。【隠語パレード】

シズク 9
「ん……ん……ん……ん……」
パトムルーム

「ふやけた声、ゆいくらと」

シズク 10
「あ、夢か……（田中ぬまこう）…………近く、よだれ田
ねやいだ……（いじく）」

シズク 11
シズク 12
「おせせめ、おせせめ！」
「おた！」田人の指ハロハロ立つかやいだ」

シズク 13
「ふふふ」

シズク 14
「ふふふ、美味しい夢見いた」

シズク 15
「ねのねこハンバーグ、がいがい、うわ」

《◆畠園/20cm 麵片から枕元へ行くイメージ》

シズク 16
「ふ、しょ……せぬ」

シズク 17
「ふく、おいて寝へはひやいだ～。」

シズク 18
「じやあ……」

《◆畠園/10cm 空の下へ出でいく》〈壁紙〉

シズク 19
「いりこ抜ぬせ、あひだかこよめ。」

「いりこ抜ぬだがばい」想像。〈ふやけた声〉

シズク 20
シズク 21
「ねこに撫なつて、いりこら……ねこまへいと……
んふ、あひだかこぞしゅめ。」

「ふふふ、世つかせかふ」

シズク 22
シズク 23
「おはせめ、手動かしがやだおはせめ、くあぐひたあ
こへ、ふふ、おせせめ、だーおふ、じいふつむ、
むーふ」

エイだらけのかこキス。鏡こっそり袖口でさなく、
わからへいじ、やつらのいたずらを意識。

◆出団/0cm 空の袖口でここキス》

シズク 23 「えー……かわい」

《◆出団/10cm》

シズク 24 「うわ、おせものかわいいねやった」

(『ハスム』せれな煙草よみせ『ハスム』な感)

シズク 25 「わい | 回 | ハスム」

《◆出団/0cm 空の袖口でここキス》

シズク 26 「…………ねえい……まあ、ねえ……ねえい……ん、
え……ねえい」

(「」)壁(やせ)

シズク 27 「わい | 回 | ハく」

エイレッタ、袖口内をかわ照らぬもハド。

シズク 28 「せぬ……ぬ、」 「ぬ、」 「ぬ、」 「ぬ、」
「ぬ、」

《◆出団/10cm 濡の煙をかすながる眼の感》

シズク 29 「ふああ……おせむ、」 「わい | 回」 ンや
エム」

シズク 30 「ほ、」 「はい、」 「はい、」

シズク 31 「ひ、」 騒騒いだね」

シズク 32 「お隠す隠して」

布団でもぐもぐ。氣持ちよれりに一睡。

シズク 33
「（一呼吸）」

シズク 34
「今日せ、わよりと運動しようかな」

シズク 35
「なれどらとへ……腕立て伏せへ……んく」

シズク 36
「牛乳に、プロテイン混せて飲むの~」

シズク 37
「やー」

シズク 38
「今年せ、マチマチじやなく、マキマキのシズクになるべども、スルーヘ」

シズク 39
「筋肉つせせや、せ、イチ『ゴジヤムのキャラップも、
』主人に頼まないで、開けれるでしょ。」

シズク 40
「そした、』主人がいなくても、イチ『ゴジヤム
マースト食べ放題へ」

シズク 41
「あははは、だから太るんだよね、』みんな
わあ、わあ、あははへ」

／＼よくす笑いながら照れキス。

《◆正圓/10cm》

シズク 42
「ふ、わわ、わわ、わわ、わわ、
わわ、わわ、わわ、わわ、わわ、
わわ、わわ、わわ、わわ、
ちゅうちゅう、盐間大丈夫？　ちゅう、鹽津とか。
れる、わわ、わわ、わわ、」

《◆正圓/10cm》

シズク 43
「……じやあ、あと五分ね~。」

出島おじのキス。

◆ 出島/10cm》

シズク 44 「はあ……ん、 わゆうわゆう、 はあ、 わゆ」

(「」) 醜き)

シズク 45 「颶あつたかい」

シズク 46 「はあ……うそ、 はあ、 両たひしる……はあはあ」

シズク 47 「わゆ……ん、 わゆう……わゆ、 はあ」

シズク 48 「頃、 ほーいふつかやつね……わゆ、 はああ……ん、
わゆう……盐體恵れわやつ……わゆ、 ちゆ」

◆ 出島/10cm》

シズク 49 「はあ、 はあ……そふふ、 いのやつて、 回じ枕で、
回せぬひと寝てゐの……あつたかくと好め」

シズク 50 「はあ」

シズク 51 「いせん……せいく、 なでなでしき。」

シズク 52 「おねがあい♪」

シズク、 ほっぺをなでられる。

顔をふにふに、 ふにやふにやな顔。

シズク 53 「ん、 あいあい……ん、 ふあああ、 ああ~」

ふに、 ふに、 ふに、 ふに。

シズク 54 「あいあい、 あいあい、 あいあい、 あいあい」

ふに。 (口をすぼぬながら)

シズク 55 「い、 い、 い。」 せん。 ほっぺ濡れなこども。」

「うへへへへ、 うへへへ、 ふひ、 ふらふら、 笑い方変になつたやつひませ、 んむへへへへ。」

せいくを離れる。

シズク 56 「ふあー。 もー。 ふふふふふはだぬい」

「ふるー。 【(ノ)かひ口をすまめながら】

シズク 57 「ふふふふふー。 またあー。」

《◆戻画/0cm 返びごとー、キス》

シズク 58 「んーー、 かわい」

《◆戻画/10cm 戻る》

シズク 59 「お口タガれそまだこになつかやうゆ」

《◆戻画/0cm 戻びごとー、キス》

シズク 60 「ふーー、 かわい」

《◆戻画/10cm 戻る》

シズク 61 「へあへあへ」

《◆戻画/0cm 戻びごとー、キス》

シズク 62 「んーー、 かわい」

《◆戻画/10cm 戻る》

シズク 63 「(ノ)かわい」

《◆戻画/0cm 戻びごとー、キス》

シズク 64 「んーーー、 かわい」

《◆戻画/10cm 戻る》

シズク 65 「このまどりがやめのへ」

《◆戻画/0cm 戻びごとー、キス》

シズク 66 「ふーーー、 かわい、 かわいわい」

【(ノ)かひ口をすまめながら】

◆凹面/10cm [底面]

シズク 67 「あはせ～、アアアアアなわよーだねえ～」

シズク 68 「私も、お返し～」

シズク、主人公の顔に手を添へる。

シズク 69 「う」狂人の世へ捕まえて～……」

(口内をゆづらかせ舐めるキス)

《◆凹面/0cm 凹で凸で、ねつとり貪るキス》

シズク 70 「せあ……んちゅ～、れ～る、ちゅ、れる……ん
ちゅ～、はあ……れ～る、れ～る、れ～る」

【U】「かの轟き】

シズク 71 「ふく～、逃げひかないよ～」

シズク 72 「くわわ～、れ～る、れ～る……！」わわ、「わわ、
くわわ、くわわ……れる、れ～る……くわわ～」

シズク 73 「う」狂人の世へれる、れ～る……お籠竹番、せらしじか
れ～る……れる……早く歸つてしまひね～。れる、れる」

【U】「かの轟き】

《◆凹面/10cm 底面》

シズク 74 「うそ～、約束～」

《◆凹面/0cm 凹で凸で、ゆづらせるキス》

シズク 75 「はあ……れ～る、れる、れ～る、れ～る……！」わわ、
「わわ、」わわ、「わわ！」わわ……おわゆ～、れる……
れ～る、れる……れる、れる……れ～る、れ～る……
「わわ、」わわ、「わわ」

◆正面/10cm [床] (111壁)

シズク 76 「はあ……べーひでこひ~」

◆正面/0cm [床] [手ぐさ]をしゃぶるようなキス

シズク 77 「ん……はあ、む~ わゆ~……はあむ、ちゅ~
はあーむい、わゆ~」

シズク 78 「はあー……あむい~、ちゅ~」

シズク 79 「はむ、はむ、はむ……あむ、あむ、んふ~ あつた
かい……はむ、はむ……ああ、むい~、ちゅ~」

◆正面/10cm [床]

シズク 80 「ふふ~、時間大丈夫~」

(首傾げるようなしぐせ、若干左右に揺れ)

シズク 81 「ほ~とお~」

シズク 82 「ほ~とこ~」

シズク 83 「走れば平気~」

シズク 84 「あはは~」

シズク 85 「……じやあ、もつあと五分ね」

◆右耳/10cm 移動

シズク 86 「~主人はあ、仰向けになつて」

シズク 87 「そーそー。天井向いて、田代のむひで~」

◆右耳/0cm [近] [耳] [舌息が当たる] <搾えぬ>

シズク 88 「ふ~、はあ」

シズク 89 「ふふ~、何それちやうか、分かつちやつた?~」

シズク 90 「んふ、~主人つて、お耳舐められたら、一発で起き
てくれるでしょ~。」

シズク 91

「集中じゃねえか」「いやも、（囁き） うひうひ
しゃこキス’してあげる」

ゆつだりとした耳舐ぬ。鋭い音は入れない。

シズク 92
「はあ……れる、れる……れる、れる……
はああ……れる、れる……んー、動かないで、
れる、れる、れる……れる、れる、れる」

シズク 93
「（囁き） 慢張る」主人も、だーいすき～」

シズク 94
「はあ、れる、れる、れる……つん、
「」主人はす「」ふかー……れる、ふかーはい慢張れるよ。
れる、れる、れる……はあ、れる」

シズク 95
「でも、れる、もつやダメなつになつた、
(囁き) すぐ戻つてしまふかーね」

シズク 96
「れる、ふふ、戻れるでしょ、れる、れる、
県合が悪いからー、とか囁いてやる、れる、
る……出世な理由のしゃつだよね～」

シズク 97
「はあむ、れる、れる、れる、心配なら、れる、
カメ」「で電話もできるから、れる、れる、
お風になつた

「はあ、れる、ね話しじ～」

シズク 98
「はあ、れる、れる、れる……れる、れる……
んふ、話聞いてる？ れる、「」主人どろけちやつて
る、れる、れる、れる、お外出たくないつ
て感じ。れる、れる」

仕事やだー。

シズク 99
「んー、今日も慢張るの～」

シズク 100
「慢張る？」

シズク 101

「そしたら、お夕飯作つて待つてゐるから」

シズク 102

「ふふふ、今田はカレーライスにしょーかなーひー」

シズク 103

「ふくく♪ 眺むの眺まね♪ 夜♪飯は、私に任せで
よ♪」

シズク 104

「ふふふ♪」

◆左耳/10cm く、またがるよつに移動》

シズク 105

「ふ、ふう……ふ、ショウ♪」

シズク 106

「布団ズレやつた、寒い、えぐ」

◆左耳/0cm 近づく》

シズク 107

「ふー、へいひー」

左耳もゆつたり耳舐め。

シズク 108

「はああ……れる、れる……れる、れる、れる、
れる……田覗めてきた? れる、れる、(笑) 眠く
なつたやつた? あれえ? えへへ れえる、れる、
れる、れる……はあ、れる」

ふこうち耳ふー。

シズク 109

「……ふうー」

シズク 110

「ふふふ♪ 田覗めた?」

シズク 111

「うん♪ うふふ♪ 寝ちゃだめだからね?」

(「」) 聽き)

シズク 112

「寝たらあ……田たぶ食べやう」

耳はむはむ。

シズク 113

「はあ……あむ……あむ、あむ……はむ、ああむ……
れる、あむあむ……はあむ、ふあ……はあむ、ふあ」

「余計眠くなっちゃうかなあ」

耳を咥えて、ゆつくり深い耳舐め。

シズク 115

「はむ、はむ……れえる、れえる、れえる……れえる、れえる、れえる」

シズク一六

1

システム

〔はむ　はむ　はおむ　れる　れる　れる　れる　れる　れる〕

システム

「ほんと?」
れえる、れえる「

シズク 20

「良かつた……れる、れる……れる、れる、れる

また向き合う。

◆正面/10cm 移動

シズク 122

「もう時間もギリギリだし……最後、いつてらっしゃや

しのちに

《◆回憶/0cm》

シズク 124

「今日も、頑張つてね！」

頑張る

シズク 126

「うん」

「まだかみつけて。ねいさん。

「ねえ……ねえ……ねえ……ねえ」

《◆出画/10cm》

ハズク 127 「へきへきへ おしり うそ。」

ハズク 128 「じやあ、なでなでしき。最後のまごわせ——」

めぐ

鳴き瓶ほどの甘い声のキス。

《◆出画/0cm》

ハズク 130 「せあ、え——、れる、かわら、れる、かわ、
れる、かわら、え——、かわら、かわら、
え——、れる、れる、れる、かわる、かわる、
いやあ、れる、れる、かわら、かわら」

ハズク 131 「」——、え——、かわら、じ——、え——、れ
れる、かわら、かわら、れれる、かわら、
いやあ、れる、ちわる、れる、れる、かわら、
はあ、え——、かわら、れる、れれる、

ハズク 132 「せあ……れる、れるれるれるれる、れるれるれ
る……」「ねえ」「ねえ」「ねえ……へかわくわく、ぱん」

ハズク 133 「ぱくぱく こわいこわいこわいこわい、れるれるれ
れ、れる、れる、れる、せあ、れる、れるれる、
れるれる」

(ヒーリング)

(01-END 2905 メモ アドラー 0秒)